

-----  
▽▼さかた農林水産業お役立ち情報 第92号（2022年7月28日）▽▼  
-----

7月も終わりに近づき、朝から気温が高くなる日が増えてまいりました。

農業者の皆様におかれましては、のどが渇く前に水分補給するなど対策を取り、熱中症にはお気をつけください。

旬の野菜や果物を食べ、夏バテ予防もしながら元気に頑張りましょう！

（担当 M. I）

-----  
（目次）

1. 令和5年産主食用米の土づくりを支援します（土づくり支援事業のお知らせ）
2. 県立農林大学校オープンキャンパスの開催について
3. 「野生きのこ」の放射性物質に注意してください
4. 県立農林大学校「女性向け農業機械基礎研修」受講生募集
5. 「超異分野学会 山形フォーラム2022」参加者募集
6. 米に関するマンスリーレポート等（令和4年7月）

-----  
【1. 令和5年産主食用米の土づくりを支援します（土づくり支援事業のお知らせ）】

酒田市農業再生協議会では、コロナ禍や異常気象下においても安定した品質・収量を確保でき、ブランド米として売れる米づくりを推進するため、基本となる土づくりを支援いたします。具体的には令和5年産主食用米の作付予定圃場へのケイ酸質を含む肥料の施用に対して支援いたします。

○対象者／酒田市に住所を有する農業者、農業法人、農業者団体のうち、令和4年度に酒田市農業再生協議会が提示した「生産の目安」へ協力しているものを基本とします。

○対象となる取組／令和4年産米の収穫後から令和4年12月31日までに、令和5年産主食用米の作付けを予定している圃場（※1）へのケイ酸質を含む肥料（※2）の施用。詳細については酒田市農政課までお問い合わせください。

※1 酒田市外の圃場も対象になります。

※2 肥料法に基づき農林水産大臣又は都道府県知事に登録された肥料を対象とします。

○補助金額／ケイ酸質を含む肥料（※）の施用に対し、1,000円/10aを上限に支援します。ただし、補助対象面積は酒田市農業再生協議会が提示した令和4年度の「生産の目安」の面積（JA等方針作成者内での調整等を含む）を上限とします。

○申請方法／申請については各方針作成者（方針に属していない農業者は農政課または各総合支所産業係）までご確認ください。

○お問い合わせ先／酒田市農業再生協議会事務局（農政課内）

電話：0234-26-5752

---

## 【2. 県立農林大学校オープンキャンパスの開催について】

入校希望者の方へ教育内容及び施設の紹介、農林業体験学習を実施し、農林大学校への理解を促進するオープンキャンパスが開催されます。

- 日時／令和4年8月21日(日)10時30分から15時30分まで
  - 場所／農林大学校研修施設「緑風館」及び施設・圃場（新庄市）
  - 対象者／高等学校1・2・3年生、保護者等、その他入校希望者
  - 送迎バスの運行／新庄駅から農林大学校間で送迎バスを運行します。  
（新庄駅東口発10：10、農林大学校発15：40）
  - 内容／①学科別ガイダンス(実習体験)②校内散策③「学生募集要項」説明
  - 参加費／無料
  - 申し込み／令和4年8月17日（水）まで、問い合わせ先までお申し込みください。農林大学校ホームページ（<https://ynodai.ac.jp/>）入力フォームからも申し込めます。
  - 服装等／農林業体験に適した服装と長靴(雨天時)
  - 昼食について／参加者には昼食が準備されます。
  - その他／新型コロナウイルス感染症の影響により中止する場合があります。また、申込者の地域が緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置等の地域の場合参加をご遠慮いただきます。
  - お問い合わせ／山形県立農林大学校教務学生担当  
電話：0233-22-1527 FAX：0233-23-3119  
E-mail：ynodai@pref.yamagata.jp
- 

## 【3. 「野生きのこ」の放射性物質に注意してください】

これから「野生きのこ」のシーズンを迎えるにあたり、次の事項に留意してください。

- ①「野生きのこ」は、生育環境の違いにより放射性物質の濃度にばらつきがあるため、出荷前の検査を徹底し、安全性を確認してから出荷してください。なお、出荷には、「フリーマーケットサイト等による通信販売」も含まれますので、注意してください。
- ②特に「チチタケ」、「サクラシメジ」、「コウタケ」は、過去に基準値を超える放射性物質が検出されていますので、自主検査を徹底し、安全性を確認してください。

県が実施している放射性物質検査の結果は、県のホームページで確認できます。

<https://www.pref.yamagata.jp/sangyo/nourinsuisangyou/nogyo/nousambutsu/kinokosansai/index.html>

他都道府県の放射性物質検査の結果は、厚生労働省のホームページで確認できます。

[https://www.mhlw.go.jp/shinsai\\_jouhou/shokuhin.html](https://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

---

#### 【4. 県立農林大学校「女性向け農業機械基礎研修」受講生募集】

女性農業者を対象に、農業機械の基礎的な知識・日常点検方法を学ぶことで、農業機械の基礎的な管理技術の向上を図ることを目的とした研修です。また、トラクターによる耕起・整地作業について学ぶほか、トラクター耕起実習をします。8月22日（月）までに農林大学校研修部へお申し込みください。

○研修日時／(1日目管理編)令和4年9月8日(木)午前10時から午後3時30分まで  
(2日目操作編)令和4年9月9日(金)午前9時30分から午後3時30分まで  
※いずれか1日だけの受講も可能です。

○開催場所／農林大学校研修施設「緑風館」及び機械研修施設（新庄市）

○講師／農機具メーカー各社

○受講対象／県内在住の女性農業者

○募集人員／20名（申し込み多数の場合は抽選により受講者を決定します）

○受講料／無料

○携行品／筆記用具、作業着、作業靴、雨具、健康保険証(原本又は写し)、昼食

○その他／受講が決定した方には、申込締切後に受講決定通知を郵送します。

○お問い合わせ／山形県立農林大学校研修部

電話：0233-22-8794 FAX：0233-23-7537

E-mail：kenshu@pref.yamagata.jp

---

#### 【5. 「超異分野学会 山形フォーラム2022」参加者募集】

地域事業者とベンチャーが出会い、新たな事業にチャレンジするイベントを開催します。このフォーラムは、地域事業者やベンチャー企業、アカデミアといった異分野同士が集まり、互いの持つ知識や技術を融合させて、新事業にチャレンジするためのイベントです。

テーマは、「農業」「畜産」「未利用資源」「カーボンニュートラル」「エネルギー」など多岐にわたり、「私がおもっているこの技術をもっと生かしたい」「コロナ禍の今、新しい分野に挑戦したい」「使っていない土地や設備を活用して何か起こしたい」など熱い思いを持った地元企業やベンチャー、研究者が多く参加予定です。

私たちがまだ見ぬ技術や新たな視点に触れ、会場で熱く議論し、共に地域産業を創出しましょう！みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

○日時／令和4年8月20日(土)9:30~15:45(フォーラム開催時間)

○会場／ル・ポットフー(酒田市幸町1丁目10-20 酒田駅前交流拠点施設ミライニ2階)

